

平成 21 年度 島根県立大学・大学院 入学式 知事祝辞

(平成 21 年 4 月 3 日)

ご紹介をいただいた県知事の溝口です。一言、お祝いの言葉を申し述べたいと思います。新入生の皆さん、入学、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。また、ご列席のご家族の皆様に、心からお慶び申し上げる次第であります。

島根県立大学は今年で 10 年目を迎えます。これまで宇野前学長の下で、全国でも有数の公立大学として発展して参りました。皆さんは、本田新学長の下でさらに充実、発展が期待されるこの大学で学ばれるわけであります。これから何年か先の社会人としての生活、生き方の準備をこの大学でされるわけであります。

今、我々が生きております世界を見ますと、世界は、歴史的に見まして大きな変動期にあると思っております。世界的な規模で、エネルギー資源不足と地球温暖化が同時に進行しています。さらに、世界経済のグローバル化が進んでいます。そうした中で、今回のような、世界景気の急激な後退が起きている。これまでに経験したことのないような形態、あるいは規模の経済危機に世界は直面しているわけであります。

また、このアジアを見ますと、中国やインドのような人口の多い新興国は、先進国にキャッチアップするプロセスが本格的に始まっております。この動きは、我々が住んでおります北東アジア、日本にも、そして島根にも大きな影響を与えてくるわけであります。

こうした世の中の早い変化に、人々も企業も政府も県も対応していかなければなりません。大学も学生も同じであります。新入生の皆さん、どうか大学において、教養や専門的な知識を学ぶのに加えまして、世の中の現実と変化を冷静に分析・評価する力、主体的に行動する力、そして生きる力を身に付けていただきたいと思います。

さて、本日、入学された皆さんの中には、県外から来られた方も多くおられます。島根県は、豊かな自然や古き良き伝統・文化、歴史が残っております。そうした中に、温かい絆のある地域社会がございます。いわば、大都市では失われたものが数多く残っています。是非、この機会に、島根県をよくみていただき、地元の人々とも交流をされ、島根を好きになっていただきたいと思います。

皆さんの先輩の方々は、積極的に地域住民の方々と交流を重ね、「地域とともに歩む大学」を実践してこられました。皆さんも、この島根県全体を言わば、皆さんのキャンパスにして、大いに勉学に励まれますとともに、いろいろな活動にチャレンジをして、自分の可能性を広げ、夢を実現する力を身に付けて欲しいと思います。

今後、皆さんがこの浜田の地、そして島根の地で生活を楽しまれながら、勉学にいそまれることを期待いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

本日は、誠におめでとうございます。